

【今号のトピックス】

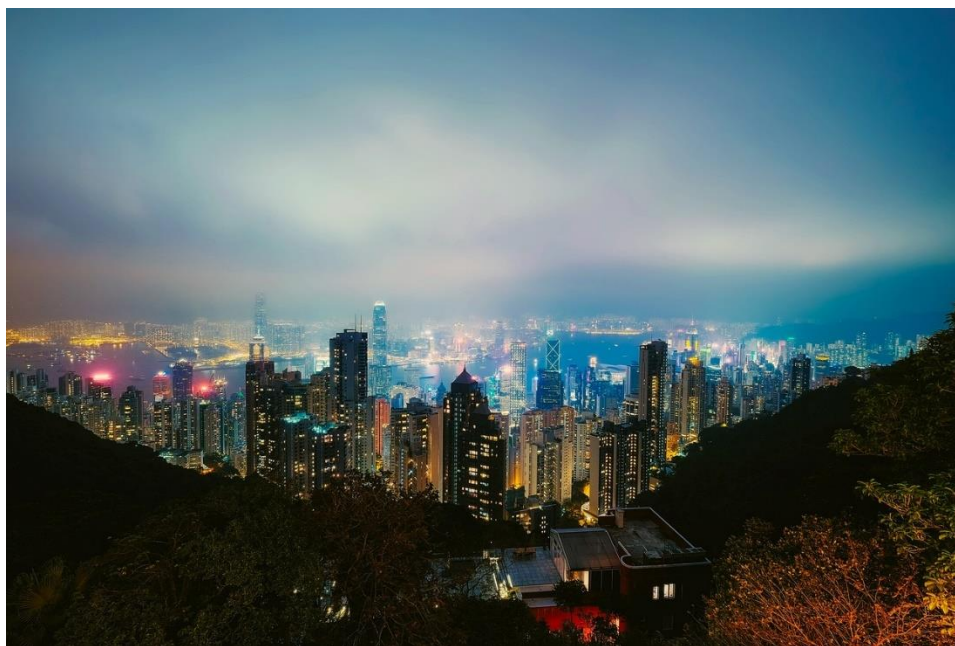
以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【北部都会区建設推進、経済と市民の暮らしに貢献】](#)

[【リコー、香港に国際人工知能研究センターを開設】](#)

[【中央政府の政府活動報告、9 年連続大湾区に言及】](#)

【北部都会区建設推進、経済と市民の暮らしに貢献】



香港財務長官の陳茂波氏は、2 月 26 日に発表した 2025/2026 年度香港財政予算案において、北部都会区の産業と空間レイアウトについて詳述しました。陳氏は、北部都会区の主要産業はイノベーション科学技術、ハイエンド専門サービス、現代物流、高等教育、文化・スポーツ・観光業であり、パイロットゾーン開発を含むより多角的な土地開発モデルを採用する、と述べました。

香港政府は現在、3つの地域におけるパイロットゾーンについて各企業に対して意向書を募集しており、今年下半期よりパイロットスキームの入札を順次開始することを目指しています。

また、陳氏は、香港政府が河套の深圳・香港科学技術イノベーション協力区の発展を非常に重視しており、香港園区が今年運営段階に入り、フェーズ 1 の最初の 3 棟のビルが次々と完成し、生命科学やヘルステック、人工知能、データサイエンスなどの産業をカバーする最初のテナントの第一陣が年内に入居する予定であると述べました。

陳氏は、香港政府が香港園区のフェーズ 1 のインフラ及び公共施設の完成を加速するために 37 億香港ドルを確保し、今年中に適切な土地を選定し民間の開発プロジェクトを募集する予定であると述べました。また、香港園区の全面的開発が完了すれば、香港経済への貢献は年間 520 億香港ドルに達し、約 5 万 2,000 人の雇用が創出されとの見通しを示しました。

また、河套協力区香港園区は新田科技城と共に、大量のイノベーション科学技術用地を提供することを明らかにしました。その中で、新田科技城内の 20 ヘクタールの土地は 2026 年から 2027 年にかけて香港科技园公司(HKSTPC)により開発および運営の予定であり、同社が実施するマスタープラン計画にかかわる研究は今年の第 3 四半期に完了する見込みとなっています。

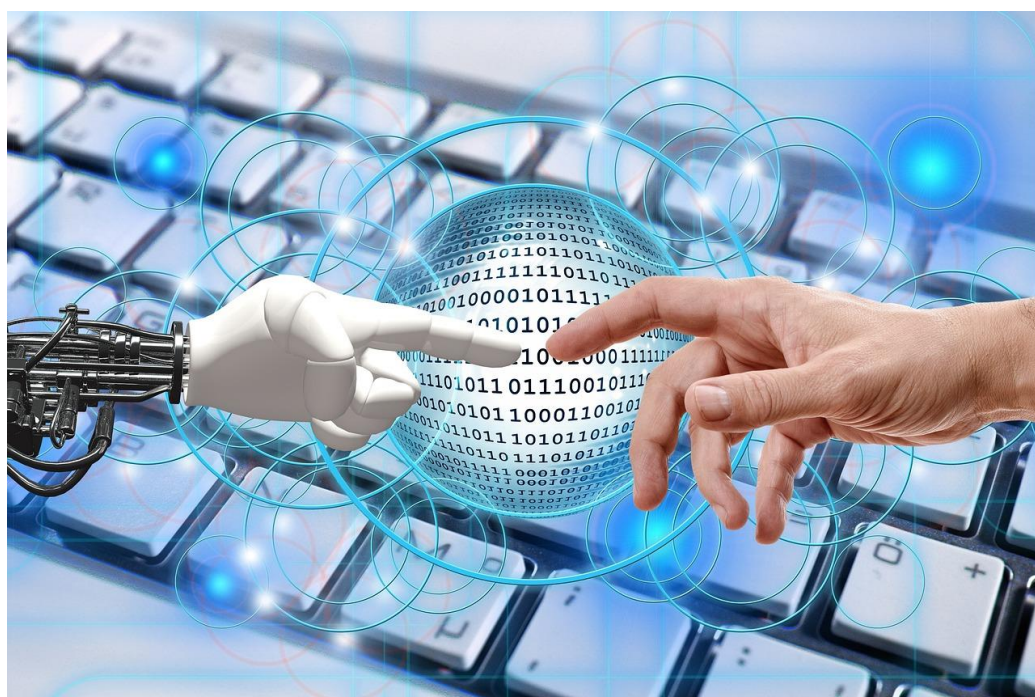
さらに、政府は香港北部に位置する沙嶺の 10 ヘクタールの土地の用途を変更し、沙嶺データパーク開発のための手続きを開始します。この手続きは今年の中頃に完了する予定で、行政当局は土地をマーケットに打ち出す準備を積極的に進めています。

予算案では、北部都会区において、今後数年間において住宅や工業用地がかなり産み出される予定であることに言及しています。昨年の 3 つの大型プロジェクト開始に続き、香港政府は今年、元朗南新開発区の第 2 期工事をスタート、沙嶺データパークの土地用途変更手続きを完了し、牛潭尾（Ngau Tam Mei）から新界北ニュータウンおよび馬草壟（Ma Tso Lung）の土地利用案を最終

決定し、環境影響評価およびその他法定手続きを進めることとなります。香港政府はまた、大型会議や展示会のニーズに応えるために、エリア内で適切な立地を策定し関連施設の建設を手配する予定です。

鉄道開発に関しては、陳茂波氏は、北環線（Northern Link）のフェーズ 1 である古洞駅プロジェクトの 2027 年完成を目指しており、2034 年までの北環線本線完成の目標に合わせ、フェーズ 2 の先行工事についてもすでにスタートしていると述べました。これとは別に、香港と深圳の両関連当局は、現在 2 つの越境鉄道プロジェクトを推進しており、今年中に香港側の洪水橋（Hung Shui Kiu）と深圳市の前海（Qian Hai）を結ぶ越境鉄道「港深西部鉄道（Hong Kong-Shenzhen Western Rail Link）」の建設に向けて事前調査・デザインリサーチ、及び北環線延伸の詳細計画・デザインも進められる予定です。

【リコー、香港に国際人工知能研究センターを開設】



3 月 4 日、香港において 60 年以上の歴史を持つ日本の著名なテクノロジー・サービス・プロバイダーであるリコー香港は、サイバーポート（数碼港）において国際人工知能研究センターである「リコーInnoAI センター」の開設及び

「リコー InnoAI プログラム」の発足セレモニーを開催した、と香港投資促進局（インベスト香港）が発表しました。今回の取り組みは、香港現地企業へ技術支援を提供するとともに、スタートアップ企業に先進的な人工知能リソースと支援を提供し、香港が国際的なイノベーション・テクノロジー拠点としての地位をさらに強固にすることを目的としています。

投資促進局次長である呉国才(Charles Ng)氏は、研究センター発足セレモニーにおいて「リコーが香港に国際人工知能研究センターを開設されたことを心よりお祝い申し上げます。これは重要なマイルストーンであるとともに、香港において活況を呈しているスタートアップ・エコシステムや、国際イノベーション・テクノロジーの拠点としての信頼の表れでもあります。我々は、科学技術・イノベーション分野における香港の主動的地位を高めることができる取り組みは、いかなるものでも全力で支援いたします」と述べました。

リコー香港有限公司のマネージング・ダイレクターである莊礼基(Ricky Chong)氏は「香港は活気に満ちあふれ、多文化が融合する都市であり、成熟したビジネス環境と豊かな人材資源に恵まれています。さらに中国の「第14次5カ年計画綱要」において香港が「八大センター」として位置付けられており、国際的なイノベーション・テクノロジー拠点として高く評価されています。加えて、香港は「引進來、走出去（外資の中国国内への誘致と中国国内からの海外進出支援）」の両面で重要な役割を果たしており、これらの要素いずれにおいても、香港をリコーアジアパシフィックにおける事業拠点として選択し、大湾区や世界各地からの専門人材を集めることにプラスになっています」と述べました。

莊氏はさらに「人工知能技術の急速な発展に伴い、変化する市場の需要や消費者行動に柔軟に対応するため、企業にはより革新的で先見性のあるソリューションが必要とされています。そこでリコーは、香港 InnoAI プログラムを立ち上げました。初年度の立ち上げ資金は5,000万香港ドルの予算を見込んでおり、主な用途は、オフィスのセットアップ、チームメンバーの採用、インフラ整備などであり、現地スタートアップ企業に対して包括的な支援を提供し、競争の

激しいビジネス環境の中での成功を後押しすることを目指しています」と付け加えました。

リコーは、グローバル・テクノロジー・リーダーとして、デジタルトランスフォーメーション（DX）を通じて企業の業務効率や運営効率の向上に取り組んでいます。新たなリコー香港の InnoAI プログラムは、リコーアジアパシフィックに新たなビジネスチャンスをもたらし、リコー製品技術の多様性を高めるとともに、先進的な人工知能リソース、専門的指導、そして創造性と革新的思考を育むクスペースを提供することで、スタートアップ企業とのコラボレーションを促進していきます。

【中央政府の政府活動報告、9 年連続大湾区に言及】



2025 年 3 月 5 日、第 14 期全国人民代表大会（全人代）第 3 回会議が人民大会堂で開幕しました。今年の政府活動報告において大湾区が再び言及され、これで 2017 年以降中央政府の活動報告書に 9 年連続で大湾区が言及されました。

2024 年、大湾区の経済総生産は約 14 兆 7,900 億元に達し、発明特許公開の年平均増加率は世界の 4 大ベイエリアの中で首位となりました。また、広東省の

対外貿易額は初めて 9 兆元に達し、対外貿易総額は 39 年連続で中国国内において首位となりました。

産業と科学技術の相互強化

「深圳・香港・広州」の科学技術クラスタは、5 年連続で、グローバル・イノベーション・インデックス（Global Innovation Index, GII）の 2 位にランクされ、広東省の地域イノベーション能力は 8 年連続で中国第 1 位となりました。

(1) 科学技術プロジェクト

イノベーションプラットフォーム体制建設が強力に推進されており、中国核破砕中性子源（CSNS）2 期プロジェクト、ヒト細胞系譜、冷水湧出帯（コールドシープ）生態系、先進的アト秒レーザーなどの国家レベルの科学技術インフラが多数建設中であり、深圳の鵬城実験室、広州実験室などの国家レベルの重点先進設備/施設「国の重器」が多数設置され、順調に稼動している。

(2) 科学技術人材

外国人材が中国で働きやすくするためのパイロットポイントの立ち上げ、「高精尖缺（ハイレベル・精密・先端的・不足している）」高度外国人材の基準を認定するためのパイロットポイントの立ち上げを行い、外国人材が広東省で働き、生活しやすい環境を作る。現在、広東省の研究開発人員は 158 万人に達し、全国の約 7 分の 1 を占めており、また、有効な証明書を持つ外国人材は 4.6 万人以上、フルタイムの両学院（中国科学院、中国工程院）専任院士は 190 人在籍している。

(3) ハイテク企業・ユニコーン企業

2024 年末までに、広東省のハイテク企業数は約 7.7 万社に達し、9 年連続で中国第 1 位となった。大湾区には 70 社のユニコーン企業があり、中国全国の約 5 分の 1 を占めている。

(4) 先端産業

2024 年、広東省の集積回路生産高は 21%増加し、全国の 18%を占めた。新エネルギー自動車の生産高は 43%増加し、全国の新エネルギー自動車の 4 台に 1 台が「広東省製」となっている。広東省の低空経済は 1,500 億元規模に達し、企業数は全国 1 位となった。

主要協力プラットフォームによる基盤補強

益々発展する大湾区の以下の重要区域は、依然として注目されています。

(1) 横琴区

2024 年 3 月 1 日、横琴において全面的なボーダー管理、封閉運営（税関が監督管理する特別エリアの設置）がスタート、「第一ボーダー」「第二ボーダー」の運営は順調かつ安定している。横琴国境管理所の統計によると、2024 年、横琴港の年間旅客輸送量は 2,280 万人を超え、年間車両通過台数は約 240 万台で、横琴港開設以来最高を記録した。2024 年末までに、横琴に登録されたマカオ投資企業は 6,000 社を超え、横琴に住むマカオ市民は 16,000 人を超え、マカオと横琴の融合の仕組みが見え初めてきた。

(2) 前海協力区

2024 年、前海協力区の GRP は 3,000 億元を突破し、8.6%の増加、中国で最も発展スピードが速く、質量共に最高の、効果、利益が最も良い地域の一つとなった。

(3) 広州南沙区

広州南沙区では、Luxrise（立昇汽車科技（広州）有限公司）の自動運転システム研究開発プロジェクトが設立し生産開始となった。ロケット「力箭一号」により中国の商業宇宙企業による国際ユーザーへの発の商業宇宙打ち上げ提供が実現した。Pony.ai（小馬智行）がナスダック上場、世界初の自動運転銘柄となり、米国における自動運転分野最大の IPO となった。

2024 年南沙区に、国家レベルの専精特新「小さな巨人」企業が 17 社誕生し、ハイテク企業は 1,300 社を超えた。

(4) 河套深港科技创新協力区

深圳と香港の協力により河套深港科技创新協力区において累計で 13 の専門園區が建設され、80 万平方メートル以上の質の高い研究スペースを提供し、440 社以上の科学技術企業を誘致し、160 以上のハイレベル科学技術研究プロジェクト及び 15,000 人以上の研究者を誘致した。

【参考資料】

- ・ [北部都会区建設推進、経済と市民の暮らしに貢献](#)
- ・ [リコー、香港に国際人工知能研究センターを開設](#)
- ・ [中央政府の政府活動報告、9 年連続大湾区に言及](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====